


2019.11.19 Forest Styleネットワーク
キックオフイベント 基調報告

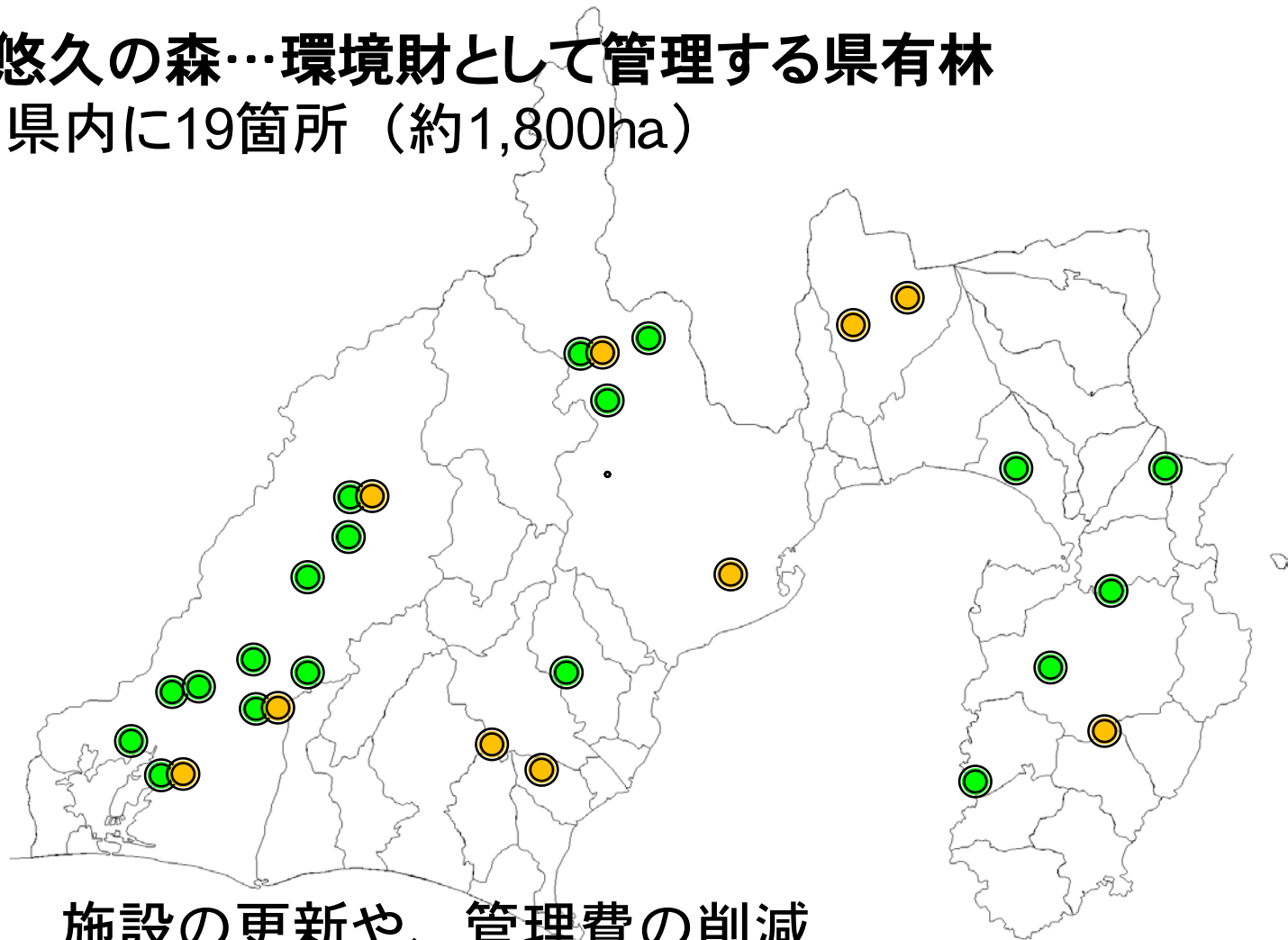


静岡県における森林空間の
新たな活用に向けた取組

静岡県 暮らし・環境部 環境ふれあい課

● 自然ふれあい施設…誰もが気軽に自然とふれあえる場
静岡県内に9箇所（約3,600ha）

● 静岡悠久の森…環境財として管理する県有林
静岡県内に19箇所（約1,800ha）



施設の更新や、管理費の削減
新たなニーズを取り込んだ、利活用が必要

『森林空間利用先進事例集』

～森林×教育・観光・健康の取組紹介～



25 - C 森林空間利用先進事例

「ホールアース自然学校」

テーマ 健康（森の中で主催者と共に作り上げるオーダーメイド型の企業研修等を開催）

1 実施団体

名称 ホールアース自然学校
 代表者 広藤謙子氏（代表取締役）
 連絡先 〒419-0305 静岡県富士宮市下輪野 165
 (TEL) 0544-66-0790 (FAX) 0544-67-0567
 (Mail) info@weens.gr.jp
 (URL) http://weens.gr.jp/index.html



2 事業（施設）概要

ホールアース自然学校（以下、ホールアース）は、環境問題をはじめとした課題化する社会問題に対し、「自然学校」という手法を用いて、主に「教育」「地域づくり」という視点からアプローチしている団体である。
 「自然塾」（＝自然と対峙する感性）の意義を伝えることを活動の根幹とし、多様な主体との連携を意識しながら、「小さな組織の小さな活動（活動）」を、「社会のうねり（社会的成果）」に育て上げる試みを行っている。その一環として、こうした取組を支える人材の育成プログラムについて早期より力を注ぎ、企業や地区住民を対象にした研修・講座等を全国各地で開催し、数多くの人材を輩出している。

3 実施エリア（所在地）

静岡県富士宮市・富士市、沖縄県名護市・うるま市、福島県郡山市、新潟県柏崎市。
 ※県内では、富士市立少年自然の家（富士市）、田貫湖ふれあい自然塾（富士宮市）の運営にも携わっている。



4 取組の概要

自然体験をベースとした環境教育活動で培ってきたノウハウを、企業向けの社員研修プログラムに応用。健康、リフレッシュ、リトリート、チームビルディングなどのキーワードを掲げ、企業の研修担当者との丁寧なコミュニケーションを経て、オーダーメイド型のプログラムを提供している。2018年度には、金融、小売、製造、サービス業など計 15 社に対して実施。当該企業がその特性やリスク等を詳細に把握している富士山麓の森林や嵐山をフィールドにすることが多い。今後は、医療機関や大学、食料関連の事業者などとの連携を深めながら、より高品質の研修プログラムを提供していくことを考えている。
 森林空間に身を置くことがリフレッシュや生産増進に資することは多くの人々が実感しており、また、自然の中でのコミュニケーションの質が、室内でのそれとは異なる点も多くの人々によって指摘されている。そこでホールアースでは、森林内での研修に資する高い自然体験ガイドやファシリテーターを配置することで、企業側のニーズに応えられる研修プログラムに仕立て、新たな価値を付与している。
 企業による社員研修は、個別案件ごとに目的やねらいが設定されていることが多く、内容について細かく相談しながらプログラムを構築していくケースがある。そこで、ホールアースでは、研修当日を迎えるまでの事前コミュニケーションにも力点を置きながら、研修プログラムを共に磨き上げていくイメージを大切に、企業研修を実施している。

5 取組を始めたきっかけ・動機・ニーズ

郡市部にオフィスを構える企業に対し、社内の研修家を雇われて会議や研修等を行うことで得られる効果について対話を重ねる中で、「大自然そのものを研修場」ととらえることで、会議や研修の新しいあり方が見えてくるのではないかと考えたことがきっかけ。初期には、オリジナルの研修プログラムをトライアル的に受けてもらい、アンケート等を参考にブラッシュアップを繰り返した。

6 行政との関係

青少年教育施設や公園施設の指定管理者となっているほか、主に環境・観光・教育・地域振興等に関わる分野において行政の事業を委託、実施している。また、複数のスタッフは行政が設置する委員会等の委員やアドバイザー等を受嘱されている。

森林空間利用先進事例集

県内外で、新たな手法を取り入れながら意欲的に森づくり活動を行っている40事例を調査

★県内（東・中・西・伊豆） 15事例

★近隣県（山梨・長野・神奈川・愛知・岐阜） 15事例

★全国 10事例

（現地取材／15事例、書類調査／25事例）

★調査期間 平成30年11月～平成31年1月



先進事例に共通していること

- ①意欲を持った少数で開始
- ②周りに積極的に発信、巻き込む
- ③民公連携
(依存しない、互いを認め合う)



Yamabushi Trail Tour

- 使われなくなった古道を再生し、地域の資源として活かすことを念頭に「西伊豆古道再生プロジェクト」として里山の整備活動を実施。
- 「YAMABUSHI TRAIL TOUR」として、整備したルート（7ルート・全長40km）でマウンテンバイクのツアーを実施している。





未来世代につなげる 新たな森・人・地域づくり 2018

森づくり

12/21

(金)

ミーティング

10:00~16:00

静岡県産業経済会館

※ 9:30開場



どなたでも
お申込み
受付中!

幼児教育の場としての
森づくりが全国で
始まっています!!

森づくりは人づくり、そして地域づくり。森林は新しいライフスタイルを生み出し、地域産業を広げ、また、幼少期の教育の場としても注目されています。講師による県内外の先進事例や研究から森林活用の可能性が広がる、ヒント満載のミーティングです。



基調講演：
森と自然を活用した保育・幼児教育
百合草 禎二 氏
常葉大学名誉教授



情報提供：
森林空間の新たな総合利用
沖 修司 氏
(公社)国土緑化推進機構 専務理事 (前林野庁長官)

・同時開催・

静岡森づくり大賞/森の名手・名人
しずおか未来の森サポーター企業
表彰式

主催 静岡県/公益財団法人静岡県グリーンバンク

運営・申込先 特定非営利活動法人しずおか環境教育研究会【エコエデュ】

お問合せ 静岡県くらし・環境部環境局 環境ふれあい課

電話：054-221-2664



詳しくはサイトから

好評につき

第2弾 企画中!

2020

森・人・地域づくりの、新しい可能性が広がる

森づくり

2020年

1/24

(金)

ミーティング

10:30~15:30

B-nest 静岡市産学交流センター

※ 10:00開場



どなたでも
お申込み
受付中!

午前
の部

報告書ひとつで
発信力アップ!

午後
の部

幼児にこそ地域の豊かな
自然体験を!

情報提供：
写真ひとつでこんなに違う!
仲間が広がる発信・報告のコツ
小野 弘人 氏
(一財)セノンイレノン記念財団

・同時開催・
静岡森づくり大賞
しずおか未来の森サポーター企業
表彰式

主催 静岡県

運営・申込先 特定非営利活動法人しずおか環境教育研究会【エコエデュ】

お問合せ 静岡県くらし・環境部環境局 環境ふれあい課

電話：054-221-2664

基調講演：
可能性の宝庫!
幼児公教育での自然環境の活用
遠藤 知里 氏
常葉大学短期大学部保育科 准教授
事例紹介：
地域の自然を生かした豊かな保育
牧之原市立菅山保育園
園長 **榎本 知枝子 氏**
保育士 **濱崎 沙央里 氏**



静岡県くらし・環境部

Shizuoka
Prefecture

県立森林公園の指定管理者の取組

森林ヨガ



家具木工教室



木工出前講座



琴の演奏会



ノルデック・ウォーク



JRさわやかウォーキング



クラフトイベント



フォークコンサート



体力検定



森林環境教育の拠点
保健休養の場の機能を向上

～地元学生との協働～ 森林公園のPR活動

森林公園勝手に応援団

カレンダーの作成

PR動画の作成

